

第2回 栄光に輝くイエス (1:9-20)

1. 啓示を与えられた時の状況 (1:9)

(1) 「苦難と御国と忍耐」

(2) 「神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモスという島にいた」

2. 啓示を書き記せという命令 (1:10-11)

(1) 「主の日」 (1:10)

- ・ 日曜日 or 「主の栄光が輝き出た特別な日」

(2) 「御霊に捕らえられ」 (1:10)

- ・ 別訳「御霊に満たされ」「御霊のうちにいた」

(3) 「七つの教会」 (1:11) ※下図参照

3. 栄光に輝くイエスの幻 (1:12-16)

→参照：表. 1:13-16 と旧約聖書の対応 (次ページ)

4. イエスからの励まし (1:17-20)

(1) 黙示録の3区分 (1:19)

- A. あなた (ヨハネ) が見たこと → 1:9-20
- B. 今あること → 2:1-3:22
- C. この後起ころうとしていること → 4:1-22:5

(2) 「七つの星と、七つの金の燭台の、秘められた意味」 (1:20)

- ・ 七つの星=七つの教会の御使いたち (天使? 教会のメッセンジャー?)
- ・ 七つの金の燭台=七つの教会



1:13-16 と旧約聖書の対応

黙示録 1 章	対応する旧約聖句 (例)
1:13a また、その燭台の真ん中に、 人の子のような方 が見えた。	ダニエル 7:13 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、 人の子のような方 が天の雲とともに来られた。その方は『年を経た方』のもとに進み、その前に導かれた。
1:13b その方は、 足まで垂れた衣をまとい、胸に金の帯を締めていた。	ダニエル 10:5 私は目を上げた。見ると、そこに一人の人がいて、 亜麻布の衣をまとい、腰にウファズの金の帯を締めていた。
1:14a その 頭と髪は白い羊毛のように、 また雪のように白く、	ダニエル 7:9 私が見ていると、やがていくつかの御座が備えられ、『年を経た方』が座に着かれた。その衣は雪のように白く、 頭髪は混じりけのない羊毛のよう 。御座は火の炎、その車輪は燃える火で、
1:14b その 目は燃える炎のよう であった。	ダニエル 10:6
1:15 その 足は、炉で精練された、光り輝く真鍮のよう で、その 声は大水のとどろきのよう であった。	そのからだは緑柱石のようで、顔は稲妻のよう、 目は燃えるたいまつ のようであった。また、腕と 足は磨き上げた青銅 のよう、彼の語る 声は群衆の声 のようであった。
1:16a また、右手に七つの星を持ち、 口から鋭い両刃の剣 が出ていて、	イザヤ 49:2 主は私の 口を鋭い剣 のようにし、御手の陰に私をかくまい、私を研ぎ澄まされた矢とし、主の矢筒の中に私を隠された。
1:16b 顔は強く照り輝く太陽 のようであった。	(マタイ 17:2) すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。 顔は太陽のように輝き 、衣は光のように白くなった。

※参照：岡山英雄『ヨハネの黙示録注解』（いのちのことば社、2014年）82頁。